

第163号

2023.12  
(令和5年)

# ひこね 市議会だより

彦根城では現在夜間特別公開を実施中です(12月開催日：2日(土)・9日(土・最終日))。400年前の彦根城を体験していただくために、あえて灯りはつけず、当時の様子をお楽しみいただけます。

詳しくは彦根城ホームページ <https://hikonecastle.com/>をご覧ください。

## 令和5年9月定例会 (9月4日～10月12日)

- 9月定例会で決まったこと …… 2～4、16～19
- 個人質問 …… 5～15
- お知らせ …… 20

インターネット中継は

彦根市議会

で検索

# 9月定例会の結果

## 9月定例会の結果

10月12日(木)に閉会した9月定例会の結果についてお知らせします。  
 予算関係7件、決算関係4件、条例関係5件、その他議案4件を審査し、原案のとおり可決、認定し、諮問4件を適当と認めました。  
 また、委員会議案1件、意見書1件を可決、請願1件を不採択としました。

### 9月定例会 議案の審議結果

会期：9月4日(月)～10月12日(木)

#### ■全員賛成で可決等した議案等

項目	番号	件名
議案	64	令和5年度(2023年度)彦根市一般会計補正予算(第4号)
	65	令和5年度(2023年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
	66	令和5年度(2023年度)彦根市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
	67	令和5年度(2023年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
	68	彦根市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案
	69	彦根市子どもに係る医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例案
	70	彦根市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
	71	彦根市火災予防条例の一部を改正する条例案
	72	彦根市西地区公民館の指定管理者の指定につき議決を求めることについて
	73	財産の取得につき議決を求めることについて
	74	和解および損害賠償の額の決定につき議決を求めることについて
	75	令和4年度(2022年度)彦根市病院事業会計の決算につき認定を求めることについて
	76	令和4年度(2022年度)彦根市水道事業会計の決算につき認定を求めることについて
	77	令和4年度(2022年度)彦根市下水道事業会計の決算につき認定を求めることについて
	79	令和5年度(2023年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
	80	令和5年度(2023年度)彦根市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
81	彦根市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	
委員会議案	4	彦根市議会議員の請負の状況の公表に関する条例案
諮問	2～5	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

#### ■議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	15	損害賠償の額の決定について
	16	令和4年度(2022年度)一般財団法人彦根市事業公社の決算状況について
	17	第35期彦根総合地方卸売市場株式会社の決算状況について
	18	第26期株式会社夢京橋の決算状況について
	19	第20期株式会社四番町スクエアの決算状況について
	20～23	市の債権の放棄について
	24	令和4年度(2022年度)主要な施策の成果、事務報告書および基金運用状況報告書について
	25	令和4年度(2022年度)彦根市の健全化判断比率等について
	26	損害賠償の額の決定および和解について

#### ■賛否が分かれた議案

(○：賛成 ●：反対 欠：欠席 —：議長)

項目	番号	件名	結果	中川	角井	八橋	堀口	北川	小川	辻	長崎	伊藤	黒澤	疋田	和田	森田	戸崎	小川	矢吹	上杉	中野	馬場	林	奥野	森野	安澤	野村	
				睦子	英明	龍二	達也	元気	隆史	真理子	任男	容子	茂樹	穂子	一繁	充	克司	吉則	安子	正敏	正剛	和子	利幸	嘉己	克彦	勝	博雄	
議案	78	令和5年度(2023年度)彦根市一般会計補正予算(第5号)	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	82	指定管理者の指定期間の変更につき議決を求めることについて	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	83	令和4年度(2022年度)彦根市各会計歳入歳出決算につき認定を求めることについて	認定	●	●	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	4	「インボイス制度の抜本的な見直しを求める意見書」を政府に送付することを求める請願書	不採択	○	○	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	
意見書	1	子どもの医療費助成拡充に伴う財政負担に関する意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●



## このような討論がありました

討論の対象議案 議案第78号 令和5年度（2023年度）彦根市一般会計補正予算（第5号）  
議案第82号 指定管理者の指定期間の変更につき議決を求めることについて

賛成

指定管理料の面からもひこね市文化プラザで働く方や利用者に迷惑をかけずに、また市民の文化の拠点という面もしっかり捉え、市民の立場に立ち、利用者の意見等も十分踏まえ調査研究をするということには賛成。

ひこね市文化プラザはあくまで市民のための施設であり、市民に丁寧な説明から始めることをせず、一企業の吉田学園に貸すようなことは、一時的でも許されるものではないことから反対。

反対

討論の対象議案 議案第82号 指定管理者の指定期間の変更につき議決を求めることについて

賛成

多くの市民利用があるメッセホール棟を一民間事業者に貸し出すことの意味合いを検討し、質疑答弁に基づく疑問点5点を検討し、来年6月議会までには結果報告をすることを条件に賛成。

賛成

映画関連企業の誘致にもつながる専門職大学吉田学園のメッセホール棟での開校を検討するだけでなく、現在の利用団体等との話し合いを前向きに行うための期間であるとも理解するため賛成。

賛成

施設のあり方を含めた調査研究および、当該賃借料にまつわる諸問題の整理等を行う際に彦根市民・文化団体などの意見・要望等を聞き、並行して効率的かつ利用者に不便がないように協議、検討していく意向であるため賛成。

討論の対象議案 議案第83号 令和4年度（2022年度）彦根市各会計歳入歳出決算につき認定を求めることについて

反対

自主財源確保が課題であるにも関わらず、自主財源を増やしようとする事業が減らされ、同和対策事業特別措置法が廃止されているにも関わらず、同和問題に多くの予算が計上されているため反対。

討論の対象議案 請願第4号 「インボイス制度の抜本的な見直しを求める意見書」を政府に送付することを求める請願書

賛成

インボイス制度導入は、小規模事業者やフリーランスに増税か、取引からの排除かという二者択一を迫るものである。そのためインボイス制度の抜本的な見直しを求める意見書に賛成。

討論の対象議案 意見書案第1号 子どもの医療費助成拡充に伴う財政負担に関する意見書案

反対

県では今後、自由度の高い交付金を出され、知事は国に対し全国一律の福祉医療制度の創設を引き続き要望される。また、国の異次元の少子化対策も今後具体化・推進されていく。こうした動向を注視し見守っていく必要があるため反対。

知事が県内のどこに住んでいても等しく医療サービスを受けられる仕組みが望ましいと発言されている。同時に、この意見書は地方自治体が行う医療費助成について、国が財政支援をするよう強く働きかけることを求めている内容であるため賛成。

賛成

# 一般会計補正予算の主な事業

## 庁舎維持管理事業

766万7千円

本庁舎に売店を設置するため、1階フロアの改修に必要な経費です。

(内訳)	所要額	既決予算額	補正額
・工事請負費	2,492万6千円	1,725万9千円	= 766万7千円



※イメージ図

## 福祉医療費助成事業

355万9千円

中学生の通院医療費助成について、令和6年度からの制度開始に伴う準備に必要な経費です。

(内訳)	所要額	既決予算額	補正額
・通信運搬費	250万9千円	157万7千円	= 93万2千円
・システム変更委託料	248万2千円	0円	= 248万2千円
・システム開発負担金	14万5千円	0円	= 14万5千円



## 伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業

4,514万4千円

妊婦・子育て世帯に対する伴走型相談支援の充実および経済的支援について、10月以降も事業を実施するために必要な経費です。

※国庫支出金および県支出金をもって賄います。

(主な内訳)	所要額	既決予算額	補正額
・出産・子育て応援給付金	4,200万円	0円	= 4,200万円



市政について  
質す!

# 9月定例会個人質問

21人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

本会議では、事前申し込みによる手話通訳を実施しています。



## ライブ・録画配信の視聴について

本会議は、ライブ・録画配信ともに映像でご視聴いただけます。

また、常任委員会と特別委員会についても、ライブ配信を映像でご視聴いただけます。



配信については、左のQRコードまたは「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。[\(http://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/\)](http://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/)

## 各議員の質問をQRコードから見る

各議員ページ右上のQRコードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問内容に関する録画映像配信ページにつながります。



林 利幸議員

**Q** ふるさと納税の見通しは

**A** 寄附受入総額10億円の目標達成を目指している



### その他の質問

- ・令和5年度予算の執行・取組状況について
- ・令和6年度予算の編成方針は
- ・荒神山自然の家の有効活用に向けて

**Q** ふるさと納税の現状は。

**A** 7月末時点で、6,302件1億8,096万8,318円で寄附額における昨年度同期比では約108%となっている。

**Q** 人気の返礼品は。

**A** 金額別では1位がビール、2位は電気シェーバー、3位は近江牛である。

**Q** 新たな返礼品 PayPay 商品券の状況は。

**A** ふるさと納税サイト「さとふる」限定の返礼品で、8月末時点で24件77万円の寄附をいただいている。

**Q** ふるさと納税の今後の見通しは。

**A** 本年度当初予算では寄附受入総額を10億円としているところであり、地域おこし協力隊や営業戦略室と連携し、新たな返礼品の発掘について研究や事業者への働きかけを行うなど、目標達成を目指している。



▲今年度の新たな返礼品 PayPay 商品券

## 個人質問



伊藤 容子議員

**Q** 新ごみ処理施設の稼働が延伸されるが、新たに必要な修繕費は

**A** 令和11年度以降の修繕計画はなく費用を示せない



### その他の質問

- ・財政状況について
- ・新ごみ処理施設について

**Q** これまでの長寿命化計画の取組は。

**A** ごみ焼却場は令和4～6年度で長寿命化改修工事を行っている。

**Q** これまでに要した費用は。

**A** 総額28億500万円。

**Q** 令和4～6年度に実施する長寿命化改修工事以前に要した改修費は。

**A** 平成29～令和3年度の5年間の総額は11億7,534万円。

**Q** 新ごみ処理施設の稼働が延伸され、令和11年度以降も現施設のフル稼働が必要になった。新たに必要な修繕費は。

**A** 令和2年度に策定した長寿命化計画は、新ごみ処理施設の供用開始の令和11年度まで安定稼働させるための計画であるため、現時点では、令和11年度以降の修繕計画はなく費用を示せない。

**Q** 今の段階で1年かけて調査するため、令和11年度稼働が少なくとも1年は延びることが確実である。新たな計画の策定期間は。

**A** 広域行政組合の追加検討調査の結果から考える。



▲令和11年以降も稼働が必要な現ごみ焼却場（野瀬町）



角井 英明議員

**Q** ヒートアイランド現象の緩和策は

**A** 緑のカーテンや計画的な街路樹整備、森林の整備を行う



### その他の質問

- ・中学校の「働き方改革」について
- ・高齢者が地球沸騰化時代を生き抜くことについて
- ・幼稚園の民営化について

**Q** ヒートアイランド現象の緩和策は。

**A** 緑のカーテンや雨水の活用などは緩和につながると同時に問題意識の向上にもつながると考えている。

**Q** 計画的な街路樹整備が必要では。

**A** 既存の樹木の活用や木陰を生み出す街路樹の新たな植栽など、計画的な街路樹整備を行っている。

**Q** 芹橋彦富線のナンキンハゼがせん定されている。豊かな樹冠を持つ街路樹を育てるべきでは。

**A** ナンキンハゼなどの落葉樹は成長が早く、限られた道路空間内で収まらず、枝が私有地に影響を与えたり、通行車両や歩行者に支障を来すため強せん定を行った。

**Q** 緩和策として森林の更新があげられているが実態は。

**A** 林業従事者の高齢化、後継者不足、不在村化による境界の不明確化等、厳しい状況があるが境界の明確化などを計画的に進め適切な整備に努める。



▲街路樹の効果



中川 睦子議員

**Q** 既存の保険証廃止や資格確認書発行の不安について市の見解は

**A** マイナンバーカードの普及は市民の皆様の利便性を高める



その他の質問

- ・高齢者が地域で生き生き暮らせるための支援について
- ・学校に行きづらい子どもたちの対応について

**Q** 番号制度対応事業で出張・戸別対応とは。

**A** いずれも委託業者と職員で対応。出張対応は公共施設や病院等に向き申請を受け付ける。戸別対応は申請行為ができない人の自宅へ訪問して申請を支援する。

**Q** 外部委託は個人情報等の問題もあり、懸念されるがその対策は。

**A** マイナンバーを適正に扱う知識を有する業者に委託する。

**Q** 申請数を増やす根拠に、自治体への地方交付税がカードの交付率と関連付けられているのか。

**A** 普通交付税のうち500億円を保有率（保有枚数）上位3分の1の市町村に対し上乗せ交付されるが、本市は基準に到達していない。

**Q** 既存の保険証廃止への不安や、資格確認書発行は不適切ではないかとの声がある中、積極的な普及に取り組むべきではないのでは。

**A** マイナンバーカードは行政の効率化、市民の利便性を高めることから普及に努める。



▲庁舎内マイナンバーカード申請窓口



奥野 嘉己議員

**Q** 吉田学園のJ R稲枝駅西側地区への進出中止に関する市の見解は

**A** 吉田学園とあらゆる選択肢を調整中



その他の質問

- ・広報ひこね決算特集の改善提案
- ・タブレットの使用状況（ゲーム機化懸念）
- ・救急車のタクシー代替使用

**Q** 吉田学園の進出中止に伴い、予定地の農地転用の状況は。

**A** 農地転用を可能とするため、市街化区域編入について、令和6年度での都市計画決定に向け、県と協議を進めている。

**Q** 市内の別の場所の検討とは。

**A** 民間施設を含め吉田学園と調整している。

**Q** （学科数が半減する）聖泉大学との協議は可能か。

**A** 市としても、検討は行ってきた。

**Q** (株)ナイキ前の開発区域、集いのエリアでの開発事業は順調か。

**A** 一部の土地が開発区域に含まれていないが、その土地以外での開発事業は順調に進んでいると認識している。



▲吉田学園の予定地（道路河川課提供資料に加筆）





疋田 菜穂子議員

**Q** 今後、市として人工呼吸器用発電機等を給付対象とすることは

**A** 現状等勘案しながら前向きに検討していく



その他の質問

- ・子宮頸がんの予防、治療について

**Q** 非常時の電源がすなわち命そのものと言っても過言ではないという必要性についての認識は。

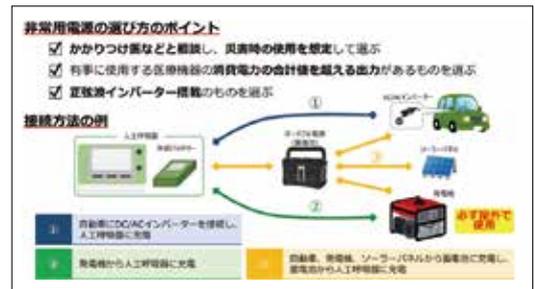
**A** 生命を維持するために、外部バッテリーや発電機、ポータブル電源がなくてはならないものと認識している。

**Q** 本市において、人工呼吸器用発電機等が給付対象でないのはなぜか。

**A** 事業開始時に人工呼吸器の外部バッテリー等非常用電源は給付種目にはなく、本市においては今年に入ってから相談であり、給付対象になっていない。

**Q** 日常生活用具給付等事業を拡充するネックとなるのは。

**A** 市において給付種目を追加したり、基準額を見直す場合には、予算の増額が見込まれる。限られた財源の中で持続可能な制度とするための工夫が必要。



▲非常用電源を活用して自助力強化



森野 克彦議員

**Q** 彦根市でも電動キックボードの導入を検討してみてもどうか

**A** 本市における導入については前向きに検討を進めていきたいと考えている



その他の質問

- ・夏休み等の放課後児童クラブでの昼食提供の推進について
- ・ラーケーションの日(※)の導入について
- ・今後の彦根の花火大会について

**Q** 米原駅での電動キックボードの導入についての見解は。

**A** 本年12月19日まで行われる実証実験の状況を注視している。

**Q** 彦根市でも電動キックボードの導入の検討をしてみてもどうか。

**A** 電動キックボードは、本年7月1日より一定の条件を満たせば運転免許不要で運転可能となり、二次交通として観光分野においてもその効果が大いに期待されている。一方で、海外では事故や違反が相次いでいることから規制強化の動きも進んでいる。また、タイヤが小さく段差や荒れた路面で転倒する危険性がある点が懸念されている。他市町での状況を注視しつつ、あらゆる面を考慮しながら、本市における電動キックボードの導入については前向きに検討を進めていきたいと考えている。

※ラーケーションの日は保護者等の休暇に合わせて届け出をすれば、子どもは学校に登校しなくても欠席とはならない日のことです。



▲米原駅で行われている電動キックボード導入の実証実験



小川 吉則議員

**Q** 彦根市の男女別平均寿命と健康寿命は

**A** 平均寿命男性82.69歳、女性88.19歳、健康寿命男性81.03歳、女性84.81歳



#### その他の質問

- ・プロシードアリーナ HIKONEについて
- ・まちなか交流棟自習スペースの活用について

**Q** 彦根市の男女別の平均寿命と健康寿命は。

**A** 令和2年度の平均寿命は男性82.69歳、女性88.19歳、健康寿命は男性81.03歳、女性84.81歳となっている。

**Q** 健康寿命を延ばすための具体的方策は。

**A** 本市では「ひこね元気計画21」を策定し、健康を支えるために地域全体で4つの施策に取り組んでいる。

1つ目は、食生活の改善や運動の継続等の生活習慣の改善に取り組むこと。

2つ目は、がんや循環器疾患、糖尿病など生活習慣病の発症予防と重症化予防を徹底すること。

3つ目は、社会生活を営むために必要な機能の維持・向上を図ること。

4つ目は、健康を支援する住民活動を推進すること。

これらに取り組むことにより、「住み慣れた地域でいつまでも、健やかに心ゆたかに暮らせるまち『ひこね』」を目指す。



▲健康寿命の延伸を進める「ひこね元気計画21（第3次）」



小川 隆史議員

**Q** 崩壊の危機にある自治会への支援の考え方は

**A** 自治会長説明会でアンケートを実施する



#### その他の質問

- ・人事行政について
- ・市民環境行政について

**Q** 崩壊の危機にある自治会への支援の考え方は。

**A** 自治会への効果的な支援への見直し、改善のためのアンケートを令和6年5月の自治会長説明会で実施する。また、見直しや改善を実施するまでの間は、自治会加入率の向上や担い手不足の解消のため、加入促進のお知らせ記事のHP掲載や加入促進チラシを転入者に配付するほか、市民向け自治意識を高める学習会も開催する。

さらに、自治会への各種補助金事業や支援事業は、窓口に来なくても申請書等の提出ができる電子申請の方法の検討や添付書類の見直しの検討を行い、自治会の事務手続きの負担軽減を図れる検討を、次年度も継続していく。



▲自治会支援窓口『まちづくり推進課』（市役所本庁舎1階）



堀口 達也議員

**Q** 専門職大学について候補地の市街化編入、公園整備計画等への影響は

**A** 市街化編入の実現のため県と協議・調整し、公園整備計画等も着実に推進する



その他の質問

- ・こども基本法の目的は
- ・こどもまんなか宣言とは
- ・こどもまんなか応援サポーターの活動は

**Q** 文化財調査の詳細は。

**A** 隣接市道で長さ約18mの大溝が確認され候補地にも続く可能性が高い。

**Q** 開校への影響は。

**A** 記録保存調査では1 haあたり2～3年の期間が必要で開校への影響もある。

**Q** 吉田学園の見解、市の考えは。

**A** 吉田学園は令和9年度の開校を優先した場合、校舎建設は難しいと判断された。本市での開校に向け吉田学園と調整する。

**Q** 基本合意書の変更は。

**A** 第2条に「設置場所は、JR稲枝駅西側地区を想定するものとする」と記載があるが、吉田学園との協議では「スタジオやオープンセットでの活用の可能性もある」と回答があり合意書の変更はない。

**Q** 市街化編入、公園整備計画等への影響は。

**A** 市街化編入の実現のため県と協議・調整を進める。また公園整備計画等への影響がないよう着実に事業を推進する。



和田 一繁議員

**Q** 夢京橋あかり館の業態転換の目的とは

**A** 民間活用による宿泊施設とすることで、本市の財政負担を軽減する



その他の質問

- ・彦根城内の樹木および石垣の整備について
- ・ひこにゃんの活用について

**Q** 夢京橋あかり館の業態転換の目的とは。

**A** 設置当初に比べ、社会情勢は大きく変化しており、観光客のニーズも多様化していることから、施設の役割を改めて見直す必要がある。現在の指定管理者制度による運営では、年間約900万円程度の指定管理料が発生し、本市の財政負担が課題となっている。民間活用による宿泊施設とすることで、本市の財政負担を軽減するとともに、観光客が周遊する場所に設置することで、日帰り型観光から宿泊型観光への移行を図る。

**Q** なぜこのタイミングなのか。

**A** 令和7年度に国スポおよび障スポの大会が開催されることや、当初令和7年度に彦根城の世界遺産登録を目指していたことから、民間宿泊施設として新たな機能を期待し、地域経済の活性化を目指していきたいと考えた。



▲夢京橋あかり館



黒澤 茂樹議員

**Q** 5類移行後の新型コロナウイルス感染症の今後の発生傾向は

**A** 秋には一旦減少するが、冬に向け再度感染が拡大すると予想される



その他の質問

- ・異常な暑さ（熱中症等）への、小中学校、病院での対応について
- ・防災ラジオの導入に向けての取組について

**Q** 新型コロナウイルス感染症の病原性はどうか変化したか。

**A** 現在、オミクロン株亜系統のXBB.1.5とされており、従前型オミクロン株より感染力、伝播性がより高くなっている可能性があり、高齢者や基礎疾患を持つ人は感染予防対策を講じて頂くことが重要である。

**Q** 5月上旬と比べ8月末時点で患者の発生件数は何倍程度か。

**A** 5類移行前の5月1日の週は、彦根保健所管内では2件、8月21日の週では114件の報告数があり57倍となっている。

**Q** 感染した際の医療費負担はどうか。

**A** 5類移行後は、令和5年9月末までの経過措置として、新型コロナウイルス感染症の治療薬および入院費用のみ公費負担となっているが、10月1日からは経過措置がなくなり、健康保険における負担割合に応じた自己負担が発生するが、国では医療支援見直し案が検討されている。

期間	5月8日～6月4日	6月5日～7月2日	7月3日～7月30日	7月31日～8月27日
発生件数	31件	137件	349件	468件
拡大傾向	1倍	4.42倍	11.26倍	15.1倍

▲彦根保健所管内患者発生件数（4週間ごと）



中野 正剛議員

**Q** 彦根市立図書館でも「ひよこタイム」を設定してはどうか

**A** おおむね、来年度の4月から試験的に行うことを検討する



その他の質問

- ・軟骨伝導イヤホンを彦根市のライフサービス課の窓口に設置しては
- ・オンライン学習で不登校の子どもへの支援を

**Q** 幼児に図書館の環境を体験させることは大事ではないか。

**A** 当館では、乳幼児に対して「ブックスタート事業」を行っており、併せて、ボランティア団体や図書館職員により、定例のおはなし会や季節の行事を開催し、絵本の読み聞かせや工作を行っている。子どもに本の読み聞かせをしたり、一緒に本を選んだり、子どもの傍で、保護者も一緒に読書をする事は、本を読む習慣を身に付けていくうえで、非常に大切なことであると考えている。

**Q** 彦根市立図書館でも幼児が気兼ねなく図書館に入れる「ひよこタイム」を設定してはどうか。

**A** 「ひよこタイム」の取組については、近隣市の図書館も最近始めているので、取組事例を参考にして、おおむね、来年度の4月から試験的に行うことを検討する。



▲彦根市立図書館児童書コーナー





辻 真理子議員

**Q** 湖北保健医療圏の3病院の経営一体化の彦根市への影響は

**A** できる限り現状の体制維持に努めたいが、動向を注視していきたい



その他の質問

- ・彦根市立病院の医師の働き方改革について

**Q** 湖北保健医療圏の3病院（長浜赤十字病院・市立長浜病院・市立湖北病院）の経営一体化の影響は。

**A** 「長浜市病院再編方針の決定に至る経緯」には、長浜赤十字病院が指定管理者になると、市立2病院への長浜市の関与がなくなることや、湖北病院が不採算病院として廃止になること、長浜赤十字病院との交渉により、長浜市の利益が害されるというような長浜市民の不安があるとされている。



▲市立長浜病院・長浜赤十字病院

**Q** 彦根市の救急医療に影響があるか。

**A** 医療連携や機能分担の面で、救急医療においても一定の影響を受ける可能性があると考えられる。今後協議が進められるということだが、動向を注視し、適切に対応したい。

**Q** 小児救急医療への影響は。

**A** 患者や家族の負担を含め、小児医療の低下を招かないよう、できる限り現状の体制維持に努める。経営一体化の動向や県が進めようとしている保健医療圏のブロック化の動きを、引き続き注視していきたい。



八橋 龍二議員

**Q** 彦根城やその周辺はバリアフリー化されているか

**A** バリアフリー化できている施設とできていない施設がある



その他の質問

- ・彦根城の世界遺産登録が延期されたことについて
- ・障害者用駐車場や多目的トイレは確保されているか

**Q** 彦根城や彦根城周辺はバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化されているか。

**A** 特別史跡である彦根城跡内において、現存する建造物等の仕様の変更や工事を実施する場合には、現代建築物とは異なり、文化財保護法の厳しい制限があることから、山を登り降りするためのエレベーターやスロープなどの設置といったバリアフリー化を行うことは困難である。一方、開国記念館については現代建築物であることから、エレベーターを設置し誰もが観覧していただける施設になっている。

今後はVR技術を用いた彦根城天守の疑似体験など、麓でも十分楽しんでいただける説明の工夫や、特別史跡の保護に影響のない範囲で新たな多目的トイレの設置も検討する。



▲今後VR技術を用いた疑似体験ができるよう検討される彦根城天守



野村 博雄議員

**Q** 子どもたちを守るため小・中学校での SNSに関する教育の充実が必要では

**A** 安全に正しく SNSを活用できるよう教育の充実を図っていく

**Q** SNSを通じて児童生徒が犯罪に巻き込まれる事案が増加する中、小・中学校での SNSに関する児童生徒への教育の取組の充実は。

**A** 教育委員会として SNS等の危険性に関する情報を一層積極的に発信すると共に、教材を導入しての学習や、外部講師や様々な機会を活用しての指導啓発の充実等、児童生徒が安全に正しく SNSを活用できるよう情報リテラシーに関する教育の充実を一層図っていく。

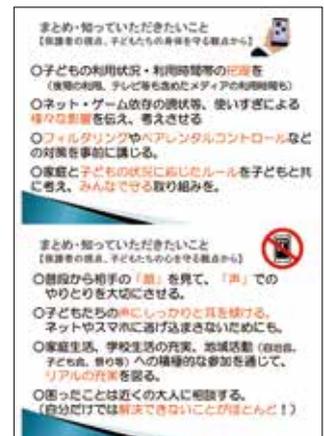
**Q** 保護者への取組の充実は。

**A** フィルタリング等の積極的な活用や、子どもとのルール作りの重要性の発信、安全で健康的な使い方について子どもと話すよう啓発促進、一人一台端末のアプリの導入活用等、今後も関係機関と連携し、保護者や地域への情報提供および啓発等の取組をさらに推進していく。



その他の質問

- ・中学生地域貢献プロジェクトの拡充について
- ・Jリーグ誘致について
- ・吉田学園の専門職大学開校計画について



▲保護者・地域向け講演資料の一例



馬場 和子議員

**Q** 市民の安心と安全を守るため、様々な場面での対処と対応は

**A** 災害にも対応できるハード面での対策と心のバリアフリーを進める

**Q** ハザードマップの浸水深を見やすくするためには。

**A** 国が策定するマップ作成の手引きに浸水深ごとの配色標準が定められているが、今後更新する際には、当該手引きの趣旨を踏まえよりわかりやすい配色を検討する。

**Q** 防災訓練の有益性を踏まえた上で、避難訓練を抜き打ちで実施することへの見解は。

**A** 突然発生する地震への備えとして有益であり自治会や企業・学校での実施に関して助言していく。

**Q** 学校現場の熱中症対策として運動会や体育大会の実施時期を検討しては。

**A** 実施時期は学校長判断で状況に応じ適切に実施していく。

**Q** 高齢者等の避暑の場として公共施設等を開放しては。

**A** 庁内関係課と連携し検討する。

**Q** 優しいまち・彦根であるために、心のバリアフリーを進めるには。

**A** 地域のつながりが大切であり、防災と人権などをテーマに啓発に努めている。



その他の質問

- ・南海トラフ巨大地震対策
- ・防災ラジオ・住民安全カードの周知
- ・救急搬送適正化の #7119
- ・水難事故防止対策
- ・点字ブロックの更新



▲ 8月26日実施の彦根市防災訓練



戸崎 克司議員

**Q** 彦根市の小中学校に相談員、指導員の配置が必要では

**A** 児童生徒の実情に応じた支援員の配置について検討していきたい



その他の質問

- ・彦根シティマラソンの募集人数を増やし、ハーフマラソンの大会にとしては
- ・彦根市全体の観光情報を整理および統一し、情報発信しては

**Q** 特別支援教育支援員の募集、採用の状況は。

**A** 前年度から継続して雇用した人数は17人、新たな募集による雇用は19人で、計36人を雇用している。

**Q** 特別支援教育支援員の在籍人数は適正か。

**A** 児童生徒の人数、支援の内容や程度などを総合的に勘案して配置人数を決定し、1～2名の支援員の配置を行っている。

**Q** 児童生徒に対し、個々に寄り添いながら子どもの悩み事等の相談を受け、落ち着いた学校生活が送れるように支援する、相談員・指導員が必要では。

**A** 不登校傾向の児童生徒は年々増加しており、多様な支援が必要となっている。児童生徒の実情に応じた支援業務に当たる支援員などの配置についても、今後検討していきたい。



▲市内学校



安澤 勝議員

**Q** 市民向けに「水害対策マニュアル」を作成して対策を講じるべきでは

**A** 片付け方法や準備物等について市民に周知できないか検討していく



その他の質問

- ・事業者も含めた防災備蓄に関する条例を検討すべきでは
- ・災害時、市社会福祉協議会と危機管理課との連携は

**Q** 万一住宅が浸水被害に遭遇したらどうすればいいのか。消毒は必要なのか。では、どうやって消毒すればいいのか。豪雨被害地の経験を教訓に、市民向けに「水害対策マニュアル」を作成して、いつ起こるか分からない水害に対しても対策を講じるべきと考える。

**A** 「水害対策マニュアル」については水害で被災された後の行動についてまとめたマニュアルと認識しており、各種支援制度の紹介や浸水した家屋の清掃・片付け、あらかじめ用意しておく準備物等に関することが主な内容と考えている。現時点では災後の行動に特化したマニュアル作成の予定はないが、浸水した家屋の清掃・片付け方法や準備物等についてもホームページへ掲載する等で周知できないか検討していく。



▲令和元年10月台風19号の被災地水戸市の様子



矢吹 安子議員

**Q** 全ての市民がデジタル化の恩恵を受け、豊かな暮らしができる社会にするには

**A** DXを進めながらデジタルを使えない方々に情報のサポートをする



その他の質問

- ・彦根市指定文化財旧井伊神社社殿調査報告書について
- ・文化庁との関係について
- ・旧井伊神社社殿活用の検討

**Q** 情報化社会の状況は。

**A** デジタル格差の解消が政策課題である。本市もデジタルのサービスに不慣れな方にも十分にサービスが行き届くことを意識している。

**Q** 情報弱者の把握は。

**A** 令和3年の世論調査では、60歳以上の多くの方がスマホやタブレットを「ほとんど利用していない」「利用していない」と回答し、その約40%が「どのように使えば良いかわからない」と回答している。

**Q** インターネットやSNSのトラブルの抑止対策は。

**A** 架空請求や迷惑メールに書いてある電話番号等に連絡しないこと。不安を感じたら消費生活センターや警察に相談していただきたい。

**Q** 全ての市民がデジタルの恩恵を受ける社会にするためには。

**A** 行政はデジタルやスマホで全てを完結しようとは思っていない。DXは進めながら、デジタルを使えない方々に情報が届くようサポートをする。



▲トラブルの抑止対策は



北川 元気議員

**Q** 通院医療費助成を中学3年生まで拡大することによる予算への影響は

**A** 扶助費が約6,000万円、手数料等の必要諸経費が約300万円の見込み



その他の質問

- ・行政デジタル推進事業について（ChatGPT、LINE）
- ・NFT活用推進事業について
- ・夢京橋あかり館の宿泊施設化について

**Q** 令和6年4月から中学3年生までの通院に助成が適用される彦根市の子ども医療費助成制度の予算への影響は。

**A** 予算額は、扶助費が約6,000万円、受診に係る診療報酬の審査支払等に要する手数料等の必要諸経費が約300万円と見込んでいる。

**Q** 準備作業が遅れる可能性は。

**A** 速やかにシステム改修業務に着手し、年内に申請書の発送準備を終え、令和6年1月中旬ごろに、対象となる方へ申請書をお送りしたいと考えている。進捗管理をしっかりと行い、来年3月末までに受給券を対象となる方にお届けできるように進めるので、現時点では、準備作業に遅れが出ないものと考えている。



▲福祉医療費受給券

## 予算常任委員会

### 議案はいずれも原案のとおり可決

予算常任委員会は、9月19日(火)、26日(火)に委員会を開催し、7件の議案について慎重に審査しました。

#### 【審査】

- ・議案第64号、議案第65号、議案第66号、議案第67号、議案第78号、議案第79号、議案第80号

#### 【主な質疑】

- 議案第64号に対して
  - Q 本庁舎に設置される売店の営業時間は。
  - A 売店は基本的に平日の開庁日に営業し、営業時間は午前7時30分から午後6時30分。ただし、毎週木曜日は窓口業務が延長されるため、午後7時まで営業する予定。営業時間は公募型プロポーザルでの業者の提案によって変更する可能性がある。
  - Q ひこにゃん特別派遣の想定は。
  - A 基本的に彦根のPR、彦根市産品の販路拡大、地域活性化に資する事業に派遣する。この条件を満たす民間企業が主催するイベント、例えば販売促進やキャンペーンなどにもひこにゃんを派遣すること

が可能。  
また、大企業の社内イベントにも、そのイベントが彦根のPRに寄与すると判断された場合はひこにゃんを派遣できる。

#### 【主な討論】

- 議案第64号に対して
  - 賛成 議会対応のDX化による働き方改革やペーパーレス化の推進、彦根市西地区公民館の指定管理導入で120万円の削減が可能になること、ひこにゃん特別派遣で自主財源確保と知名度向上に期待することから賛成。
  - 賛成 マイナンバーカードに多額の予算が割り当てられている点に懸念を示しつつも、子どもの医療費無償化に対する積極的な予算配分に賛成。

#### 【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

## 福祉病院教育常任委員会

### 議案はいずれも原案どおり可決

福祉病院教育常任委員会は、9月20日(水)に委員会を開催し、2件の議案について慎重に審査しました。

#### 【審査】

- ・議案第72号、議案第74号

#### 【主な質疑】

- 議案第72号に対して
  - Q 指定管理の運営費が現状より年間120万円少ないが、どのようなところを削減するのか。
  - A 指定管理者の裁量ではあるが、人件費の削減が主なものと考えている。
  - Q (西地区公民館が)指定管理になることについての地域住民への説明は。
  - A 特にしていないが、令和5年5月10日から公募を開始しているため、その時点で広く市民に周知している。
  - Q 指定管理者となるNPO法人学問のすすめの会員数は。
  - A 会員数の報告はないが、役員としては理事が3~5名と監事を置く。
  - Q 現在、彦根市では2つの公民館が指定管理者により運営されているが、今後も増やしていくのか。
  - A 彦根市には8地区に地区公民館がある

が、既に中地区と稲枝地区の2地区で指定管理者制度を導入している。  
残りの5地区のうち、鳥居本地区と河瀬地区は出張所併設であり、指定管理者制度にはなじまない。  
残りの東地区、旭森地区、南地区公民館については、今後指定管理者制度の導入について検討していく。

#### ○議案第74号に対して

- Q 事故の損害額の責任割合は、市が80%、相手方が20%であるが、市の割合が大きい理由は。
- A 市の方が一時停止を怠ったことが理由。両方の車両は全損であった。
- Q 公用車にナビやドライブレコーダーを設置する考えは。
- A ドライブレコーダーは全公用車に搭載されているが、ナビの導入については今後進めていきたい。

#### 【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

## 市民産業建設常任委員会

### 議案はいずれも原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会は、9月21日(木)、26日(火)に委員会を開催し、2件の議案について慎重に審査しました。

#### 【審査】

- ・議案第69号、議案第82号

#### 【主な質疑】

- 議案第69号に対して
  - Q 新たに対象となる中学生の数は。
  - A 対象者は大体3,000人と見込んでいる。
  - Q 助成の申請書はいつごろ対象の各保護者の元に配布され、受給券はいつ郵送される予定か。
  - A 申請書は1月中旬ごろに一斉送付させていただき、3月末までに受給券を対象となる方にお渡しできるようにと考えている。なお、受給券は、現在子ども医療費助成の受給券をお持ちの小学生については、特に申請等はいただくずに、有効期限を延長した受給券を送付する。

#### 【主な討論】

- 議案第82号に対して

反対 文化プラザを（賃借利用に供する）検討をするというのは、市民の立場に立てば、賛成しかねるため反対。

賛成 開館から26年が経過しているひこね市文化プラザは、これまで多くの維持管理費がかかっており、今後も多額の維持管理費がかかると予測される。公共施設のあり方を考えることは行政の責任であり、ひこね市文化プラザメッセホール棟で専門職大学を開学できるかどうかは、指定期間を延長した1年の間に本市が行う施設のあり方を含めた調査研究、当該賃借料に係る諸課題の整理にかかっている。また吉田学園の、本市において、何としても専門職大学を開学したいという強い思いに応えるためにも賛成。

#### 【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

## 企画総務消防常任委員会

### 請願第4号は不採択、議案はいずれも原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会は、9月22日(金)に委員会を開催し1件の請願と2件の議案について慎重に審査しました。

#### 【審査】

- ・請願第4号
- ・議案第68号、議案第73号

#### 【主な質疑】

- 議案第73号に対して
  - Q 高性能消防指令システム関連機器のメーカー推奨耐用年数は。
  - A 現行の指令システムは平成29年から運用開始し、6年が経過している。メーカーが推奨するのは5～6年。
  - Q 随意契約の理由は。
  - A 今回の指令システムは部分更新で、平成28年度整備施工の専門的知識、技術、現場の状況等に精通していることが求められるため。
  - Q 地図の更新状況およびその費用は。

A 他の消防本部では3～4年をめどに地図の更新に費用をかけて行っておられるようだが、本市では職員が調査して地図を書き換えている。よって費用は発生していない。

Q 今回たくさんの機器、システムが更新される。新しいシステムになった時、他府県が導入されているシステムと比べて劣っているのか、優れているのか。

A 他府県の状況は把握できていないが、テレビ等報道で目にする限りでは、ほぼ同等であり本市が劣っているということはない。

#### 【結果】

- ・請願第4号は不採択
- ・議案はいずれも原案のとおり可決

# 令和4年度の各会計決算を認定

議案第75号、議案第76号、議案第77号、議案第83号の審査のため決算特別委員会を設置し、10月4日(水)・5日(木)・6日(金)に委員会を開催しました。

委員長：矢吹 安子

副委員長：和田 一繁

委員：伊藤 容子 八橋 龍二 角井 英明 戸崎 克司 黒澤 茂樹 森野 克彦 辻 真理子  
足田 菜穂子

委員からの主な質疑の概要

## 企画総務消防常任委員会が所管する事項

【全体】 臨時財政対策債発行の今後の見込みなどについて。

【歳入】 法人市民税が増えた理由と今後の見込みなどについて。

【歳出】 結婚新生活支援補助金の実績や移住の理由、美しいひこね創造事業の効果、データサイエンス活用課題解決支援事業の調査結果および今後の活用、彦根市スポーツ・文化交流センターのオープニングイベント開催委託料の内容、国スポ・障スポ大会準備経費のうち修繕料の内訳などについて。

## 市民産業建設常任委員会が所管する事項

【歳入】 J F A サッカー施設整備助成金の内容、低炭素建築物認定手数料の内容などについて。

【歳出】 鳥人間コンテストに係るシャトルバス運行委託料の費用対効果、コンベンションサービスの実績、地域経済対策リフォーム事業の効果や不用額が生じた理由、環境保全型農業の内容、プレミアム食事体験の実績と効果、夢京橋あかり館運営管理事業の工事費の効果、グリーンスローモビリティ社会実験支援業務委託料の内訳や結果、立花船町線街路事業および松原町大黒前鴨ノ巣線街路事業の進捗状況などについて。

国民健康保険事業特別会計では、傷病手当金の支給対象者数と効果などについて。

下水道事業会計では、下水道事業に係る一般会計からの繰出金の内訳が大幅に変更となった理由などについて。

### 福祉病院教育常任委員会が所管する事項

**【歳入】** 児童福祉施設利用負担金や保育所使用料が不納欠損となったことに対する市の対応などについて。

**【歳出】** 障害者虐待通報の認定件数とその後の経過、HPVワクチン接種費用助成金に係る該当者への通知件数と接種状況、物価高騰に負けるな！ひこねっこ応援臨時給付金事業の不用額が生じた理由、保険事業と介護予防の一体化事業の内容と成果、ICT支援員配置事業委託料の増額理由、彦根城博物館展示ケースの効果、教育指導費の不用額が生じた理由の一つである会計年度任用職員による欠勤の影響、荒神山自然の家における屋外監視カメラ設置の効果、彦根市サイエンスプロジェクト推進事業の概要と効果などについて。休日急病診療所事業特別会計では、保健衛生費使用料収入増額の理由などについて。

病院事業会計では、病床確保料の診療単価上昇の理由、コロナ専用病床の利用状況、院内保育所運営委託の必要性などについて。

**【反対】** 同和対策事業特別措置法が廃止されているにもかかわらず、市民意識調査が実施され、彦根市人権施策基本方針の主要課題はいまだに同和問題の解決であり、多くの予算が計上されていること。また、悪化した財政再建のため、自主財源を確保しなければいけないが、地域での工事費用を生み出す地域経済対策リフォーム事業費が減らされていたり、多面的機能を持つ農業を積極的に支援し、地域に根付かせる施策が不十分であることなどから反対する。

議案はいずれも原案のとおり認定

## 議会改革特別委員会

### 「政治倫理審査会のあり方やルール、ハラスメント対策にかかる検討」等4点を新たに協議項目として追加

6月26日(月)に開催した委員会では、「協議項目等の整理について」を議題として協議しました。

まず、これまで取り組んできた2つの項目を整理し、「議員間討議の活用」は継続、「質疑・質問時の動画資料掲示」につきましては、先の議会改革特別委員会において現在の環境での実施は困難であるという結論が出ていることから、本委員会での協議項目から削除することとしました。

次に、追加項目として「政治倫理審査会のあり方やルール、ハラスメント対策にかかる検討」、「議員定数にかかる検討」、「議員歳費の見直し」、「委員会中継を見ている市民にわかりやすい手法の検討」の4点を取り上げ、今後協議をしていくことと決しました。

## 防災訓練を実施しました

彦根市議会では、災害発生時に備えて、定期的に防災訓練を実施しています。

本年度は8月26日(土)に実施された「令和5年度彦根市防災訓練」に合わせて災害時の参集訓練を実施しました。



## 議員人権研修会を実施しました



○令和5年8月24日(木) 午前10時30分～正午

彦根市議会では、市民の代表としてより研ぎ澄まされた人権感覚を養うため、年に1回議員人権研修を実施しています。

今回は、社会保険労務士 服部事務所 服部 良雄 さんを講師にお迎えし、「ハラスメントを起こさないために」をテーマにご講演いただきました。

## 議員研修会を実施しました

○令和5年9月1日(金) 午前10時30分～正午

日本防災士会滋賀県支部顧問の安井 務さん、社会福祉法人彦根市社会福祉協議会の地域支援課の職員の方々を講師にお招きし、「アフターコロナをきっかけに『災害・防災を通して』みんなで『コミュニティ(自治会)』を再生しよう」をテーマに研修を行いました。



### 本会議・委員会の日程(予定)

月 日	内 容	時 刻
11月27日(月)	開 会	9:00
12月 4日(月)	個人質問	9:00
12月 5日(火)		
12月 6日(水)		
12月 8日(金)	予 算 常 任 委 員 会	9:30
12月11日(月)	市民産業建設常任委員会	9:30
12月12日(火)	企画総務消防常任委員会	9:30
12月13日(水)	福祉病院教育常任委員会	9:30
12月18日(月)	閉 会	9:00

次の定例会は

**11月27日開会です**

### ぜひ傍聴にお越しください。

いつでも簡単な手続きで傍聴ができますのでぜひお越しください。

議場・委員会室ともに彦根市役所本庁舎5階にあります。

議場は定員45人、委員会室は定員9人です。

本会議・委員会の傍聴の仕方

- ①議会事務局(本庁舎5階)で「傍聴人受付簿」に住所やお名前等をご記入ください。
- ②傍聴者用の議案書、アンケート用紙、名札を受け取り議場または委員会室へ
- ③お帰りの際、アンケートにご協力ください。